

きいて・めもして・こたえよう

すいじょう じょう水場の しくみ

なまえ
名前

聞くめあて 水が「きれいになるじゅんじょ」を、川から家にとどくまで、じゅんばんにメモしましょう。

ことば
おとさない言葉：じゅんじょ・しせつの名前

ほうそう
放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) 川からくみ上げた水を、はじめに入れるのはどこですか。

(2) 「ろか池」では、何を通して水をこしていますか。

(3) きれいになった水に薬品を入れるのは、何のためですか。○をつけましょう。
ア 水をつめたくするため

イ ばいきんをなくして、安全に飲めるようにするため
ウ 水の色をこくするため

(4) じょう水場を見学するしたら、聞いてみたいことを、一つ「しつもの文」で書きましょう。

やまおり

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「めも」の面だけを表にする (問題を先に見せない)。
- ② この放送文を先生が読む (または用意した音声流す)。**読む回数: 2回**。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、みなさんが毎日使っている水道の水が、どこできれいにされているのかを話します。水は、「じょう水場」というしせつできれいにされてから、家まで送られてきます。だいじなところをメモしましょう。

まず、川からくみ上げた水を、「ちんでん池」に入れます。ここでは、水の中の土やすなを、時間をかけて底にしずめます。次に、上のすんだ水を「ろか池」に送ります。ろか池では、小さなすなの層を通して、水をこします。こうして、目に見えないよごれもとりのぞかれます。

さいごに、きれいになった水に、消どく用の薬品を少しだけ入れます。これは、ばいきんをなくして、安全に飲めるようにするためです。でき上がった水は、大きなポンプで、町中の家や学校へ送られます。

じょう水場では、水のきれいさを、一日に何度もけんさしています。わたしたちが安心して水を飲めるのは、こうした仕事のおかげなのですね。

メモのれい

じょう水場＝水をきれいにするしせつ

じゅんじょ：川→ちんでん池 (土・すなを底にしずめる) →ろか池 (すなでこす)

→薬品で消どく (ばいきんをなくす) →ポンプで家・学校へ

きれいさを一日に何度もけんさ

こたえと かいせつ

(1) ちんでん池

「まず、川からくみ上げた水を、『ちんでん池』に入れます」の部分です。じゅんじょの一番目です。

(2) (小さな) すな (の層)

「小さなすなの層を通して、水をこします」と言っていました。

(3) イ (ばいきんをなくして、安全に飲めるようにするため)

「ばいきんをなくして、安全に飲めるようにするためです」と理由を言っていました。

(4) (例) 一日で、どれくらいの水をきれいにしているのですか。／けんさは、だれがしているのですか。

話の中身に関係する「たずねる文 (～ですか。)」になっていれば正解です。